

地方公共団体の議会の議員及び長の選挙期日等の臨時特例に関する法律案に対する附帯決議

平成二十二年十月二十七日
参議院政治倫理の確立及び
選挙制度に関する特別委員会

統一地方選挙は、昭和二十二年に第一回が実施されて以来、国民の地方選挙に対する関心を高めるとともに、選挙の円滑かつ効率的な執行を図る上で大きな役割を果たしてきた。しかしながら、回を追うごとに統一率は低下しており、また、昭和の大合併や平成の大合併によって統一される団体数そのものが大きく減少している。

こうした現状にかんがみ、国は、統一の趣旨を実効あるものとするため、統一率の向上方策等について検討を行い、必要な措置を講ずるよう努めるべきである。

右決議する。